

2009年11月27日

特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構

設立二周年記念シンポジウムが盛大に開催

第二回ヘルスツーリズム大賞 加森観光株式会社が受賞！

「特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構」(理事長 森 昭三)は、設立二周年を迎え、これを記念したシンポジウムを2009年11月24日、東京都浜松町にて盛大に開催した。

当日は、行政、学術関係者、企業関係者、医師などに加え、学生の参加も含め約140名が来場した。今年のテーマは、「成熟社会におけるヘルスツーリズム、トラベルメディスンでの社会貢献」として、ヘルスツーリズムの領域を広げながら、あるべき姿を探っていく機会とした。

基調講演では「観光立国時代におけるライフスタイル・イノベーション ヘルスツーリズムの将来を考える」と題し、北海道大学観光学高等研究センター長/教授・石森秀三氏が「観光をめぐる地殻変動」、「観光立国政策の強化」などについて講演した。特別講演では「新型インフルエンザ時代の安心・安全の旅について考える」と題し、日本渡航医学会副理事長・大越裕文氏が、「海外渡航者の新型インフルエンザ対策」を中心に安心・安全の旅のあり方について講演した。

また、分科会では、「パネルディスカッション」と「学生セッション」に分かれ開催した。パネルディスカッションでは、「ヘルスツーリズムによる地域振興を考える」をテーマに、株式会社新産業文化創出研究所上席主任研究員・卯津羅泰生氏、琉球大学観光産業科学部准教授・荒川雅志氏、財団法人大阪市都市型産業振興センター新産業創造推進室長・竹嶋正明氏、福島県岳温泉旅館協同組合理事長・鈴木安一氏をパネリストに迎え、地域振興を機軸とした将来性、課題点などの意見が交わされた。一方、学生セッションでは、「ヘルスツーリズム勉強会」と題し、観光学、健康科学などを学ぶ学生が一堂に会しグループディスカッションを行った。ヘルスツーリズムの推進組織でもある加森観光株式会社ルスト事業部東京営業所所長・山下幸一氏、株式会社日本航空インターナショナルマネージャー・二木真氏、和歌山県広報室PRマネージャー・日根かがり氏からヘルスツーリズム推進の実際を聞き、学生側がヘルスツーリズム振興策のアイデアを練り発表した。

なお、本シンポジウムでは、昨年度に続き第二回ヘルスツーリズム大賞の授賞式が行われた。“ルストリゾート健康村”の名称で、科学的根拠に基づきつつ楽しみながら体験できる健康増進プログラムを提供し、ヘルスツーリズムを主導的な立場で推進してきた「加森観光株式会社」が受賞した。

<お問い合わせ先>

特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構

事務局 丹羽・白井

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 ダヴィンチ芝パーク A館 7F

TEL & FAX : 03-5403-2574 E-mail : info@npo-healthtourism.or.jp